



ハロープロジェクト

～わたしの健康 歯と口から～



石川県羽咋郡宝達志水町立志雄小学校 7学級164名

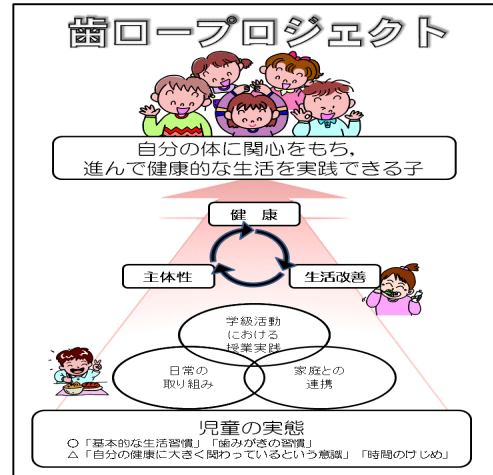
本校は、田畑が周りにある比較的自然豊かな地域にある。児童数は164名で、7学級の小規模校である。本校では、自分の健康を自分自身で守っていく力を育成することを目指して、「歯ロープロジェクト（ハロープロジェクト）～わたしの健康 歯と口から～」と研究主題を設定し取り組んでいる。歯と口の健康づくりを通して、自分の健康を築き、守っていき、いつまでも笑顔で健康にいられるように、との願いがこめられている。

平成27年度の実践

学級活動

全学年が「歯と口の健康づくり」の学級活動を行っている。「歯みがき」「食育」「歯と口の機能の向上」の3つの観点から発達段階に応じた題材を設定し、ねらいを絞って指導を行った。その指導の際には各自が自分の口腔内を鏡で見たり、歯に触って確かめたりして自分自身の問題として考える時間を設定した。更に全学級が、年間1回以上の公開授業を行うことで、保護者や地域の方にも歯と口の健康づくりについて広める機会とした。

歯科衛生士や栄養職員、養護教諭をゲストティーチャーとして迎え、実施できた。



児童会活動

保健委員会：児童集会発表 6月「みんなでブラッシング～ミュカスをやっつけろ～」

児童集会発表 11月「動物たちのよい歯甲子園」

保健委員会の児童が寸劇で、「歯の大切さ」を伝えた。低学年も楽しみながら歯について学ぶことができた。

歯みがき強化月間に3分間歯みがきをした児童にシールを配り、定着を図った。

図書委員会：毎月行っている読み聞かせで、6・11・2月の歯と口の健康づくり強調月間に「歯・口」を題材にした本を読んだ。

給食委員会：毎日の給食の中で、かみかみメニューや体を温める冬野菜について知らせた。



学校保健委員会・家庭との連携

冬休みに、「おうちの人と歯みがきくらべ」と名づけて、家庭でおうちの人と歯の染め出しを行った。年末年始のあわただしい時期だったが、時間を作り実施してくれた。その感想等を「歯ローすまいる（はろーすまいる）」と名づけた広報誌に載せ、連携を図った。

2月に、「歯の健康における今と昔の違い」について学校歯科医の講演会を行った。